お客様・パートナー様各位

fusion_place 9.0 リリースのご案内

2019 年 12 月 25 日
株式会社フュージョンズ

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。
本日、fusion_place の新バージョン「9.0」をリリース致しましたことをお知らせ申し上げます。

記

1. リリースの位置づけ

本リリースは、一般向 LTS（長期サポート版）です。fusion_place cloud、premium に加え、fusion_place standard についても提供されます。 フルバージョン番号は、9.0.1-S119 です。

本リリース後も、従来のサポート対象 LTS であった 7.0 系列及び 8.0 系列は継続してサポートされます。これらの LTS については、今回、併せて以下のパッチバージョンをリリース致します：

7.0 系列…　　7.0.4-S114
8.0 系列…　　8.0.2-S114

従来からお伝えしております通り、7.0 系列は、Java 8 以前をサポートする最後のバージョンであり、これを考慮して、Java 8 の Premier Support 期限である 2022 年 3 月までサポート期限(EOL)を延長する予定です。
8.0 系列は 8.0.2 のリリースを以って EOM（不具合修正パッチ提供期間終了）となります。ただし、サポートは、今回リリースの 1 年後まで継続します。

新機能版である「8.1」系列につきましては、本リリースの 2 か月後（2020 年 2 月末）にサポート終了となりますので、本リリースにご移行お願い致します。

2. ご提供方法

弊社サポート窓口（support@fusions.co.jp）にお問い合わせください。お試しにご利用になる場合は、
試用ページ(https://www.fusions.co.jp/premium-download-request/）からインストー

ラをダウンロード頂けます。試用許諾条件・使用許諾条件とも、旧バージョンから変更ありません。既存のバージョンからのアップデートは大変簡単です。後述する「インストール方法」をご参照下さい。

3. 主な機能改善点（8.0 対比）

（1） お知らせ機能

コントリビュータ／ブラウザへのログイン時にお知らせを表示できるようにしました。複数の業務責任単位を宛先としてお知らせを表示することも可能です。#442

（2） ドリルダウン先複数指定機能

フォームのドリルダウン機能において、勘定科目の種類などの条件に応じてドリルダウン先のフォームを切り換えることが出来るようにしました。具体的には、フォームの列／行仕様、ループ仕様、セル仕様に含まれる「ドリルダウン」条件指定で、ドリルダウン先フォームとドリルダウン条件の組を複数指定できるようにしました（先頭に近いものほど優先。すべての組の条件が該当しない場合はドリルダウンなしとなります）。#913

（3） Excel-Link 再計算待ち時間の調整

Excel-Link データ取得での再計算の待ち時間を 5 秒から 20 秒に延長しました。データ取得時に「Excel の再計算が著しく遅くなっており、処理できません。」というメッセージが表示され、処理がキャンセルされることがあります。本件は不具合ではなく、シートの計算式が複雑すぎる場合に発生します。しかしながら、Excel のバージョンアップに伴い、再計算の所要時間が長くなる傾向がみられるため、本件対応を実施しました。当バージョンの Excel-Link を用いても上記メッセージが表示される場合、シートの計算式や一回の処理で対象とするデータの量を見直して下さい。また、それらの対策で十分でない場合に備えて、計算の待ち時間を各クライアント PC 上の設定ファイル（excel-link.ini）に設定できるようにしました。#916

（4） 週別・日別管理のための関数群の追加

週別・日別管理のための関数をテキスト式に追加しました。曜日判定、年度の週分割などが容易になります。追加した関数は以下の通りです：

@date(西暦年度,月番号,日 [, 月オフセット])	年、月、日から「日付連番」を返す。日付連番はエクセルのそれと互換性があります。歴月ベースの他、月オフセットにより会計年度ベースの期間も日付連番に変換可能です。
@year(日付連番)	日付連番によってあらわされる日付の「歴年」を返します。
@month(日付連番)	日付連番によってあらわされる日付の「歴月」を返します。
@day(日付連番)	日付連番によってあらわされる日付の「日」を返します。
@day_of_week(日付連番)	日付連番によってあらわされる日付の「曜日」を返します。
@last_day_of_month(日付連番)	日付連番によってあらわされる日付が属する月の月末日の日付連番を返します（閏年を考慮します）。
@week_anchor(帰属期間開始日 ,週の開始曜日 [,週の帰属期間決定基準曜日])	年度・月などの期間を週分割した場合の「週並び開始日」を返します。 「週並び開始日」は週分割された期間の第 1 週の開始日です。
@week_num(週並び開始日 ,日付連番 [,次の週並び開始日])	週並び開始日から始まる週並びで、日付が含まれる週の番号を返します。

詳細は、ユーザマニュアルの以下の箇所をご参照下さい。

fusion_place のしくみ＞
13.テキスト式＞04.式の部品＞02.【設・管】関数呼び出し、
中の「全ての方言で使用できる関数＞3. 日付計算関数」

#919

（5） @IfError 関数の追加

テキスト式に「@IfError」関数を追加しました。Excel の IfError 関数と同様、引数を２つ取り、第１引数の値がエラーの場合、第２引数の値を返します。ゼロ割り時の表示などに使用頂くことを意図しています。#914

（6） 業務責任単位の表示

コントリビュータ／ブラウザ／マネージャで、業務責任単位の選択欄には、従来、「オプション一オブジェクト表示」が適用されず、名称しか表示されませんでしたが、「オプション一オブジェクト表示」が適用されるようにしました（名称、ラベル等の組み合わせで表示可となります）。#593

（7） リクエスタ・Web-API 処理のログ表示の改善

リクエスタ及び Web-API によって実行される処理に関して、サーバー側の処理ログに処理名と説明が出力されるようにしました。#901

（8） Amazon Aurora 対応（並列処理性能の向上）

データベース管理システムの選択肢として、従来から fusion_place に組み込まれている「H2 database」に加えて、「Amazon Aurora (MySQL)」に対応しました。Amazon Aurora を選択すると並列処理できるパターンが増えるため、多数ユーザが同時アクセスする状況で高速化が期待できます。またデータベースのオンラインバックアップが可能になることにより 24 時間運用（週一回程度の停止を除く）への道が開かれます。

Amazon Aurora 対応エディションは、有償オプションとしてご提供する予定です。また、当面は、限定されたユーザ様にご提供し、運用ノウハウの蓄積を図って参ります。早期のご利用に興味のあるお客様は、弊社サポート窓口（support@fusions.co.jp）にお問い合わせ下さい。#694,#695,#761

以下は 8.1 にてご提供済みの機能改善点です。

（9） データベースアクセス処理の高速化とデータベース容量の圧縮

DB 内でのデータレイアウトの変更、データロード／書き込み処理の並列化、元帳データ等容量の大きくなるデータの圧縮により、データベースアクセス処理の高速化を図るとともに、データベース容量を圧縮しました。#890

（10） Excel-Link テンプレート処理での件数制限導入

従来、Excel-Link のテンプレート処理で全組み合わせ表示が有効な場合に、組み合わせ数が大きいと、データ取得後の行情報作成に長い時間がかかるケースがありました（実行タイムアウトが発生しない）。こうした場合はエラーメッセージを表示して処理を終了するようにしました。#888

（11） マネージャのメンバリストパネルのスクロール方式改善

画面サイズにより、マネージャのディメンション画面＞メンバリストパネルのメンバ選択式が途中までしかスクロールできない場合がある点、改善しました。#883

（12） サーバーサイドでのガベージコレクション方式の変更

サーバーサイドのガベージコレクション方式として、Java 11 でデフォルトの G1GC より、従来のデフォルトであるパラレル GC を指定した方が、処理速度が速く、CPU 負荷も小さい（メモリ 2GiB での計測による）ことから、fusion_place のデフォルトインストールではパラレル GC が指定されるようにしました（JVM 起動オプションで「-XX:+UseParallelGC」が指定されます）。#885

（13） メニューページの URL 修正

index.html, index-1G.html および関連アセット（画像、CSS 等） が /app ディレクトリに配置されていましたが、ルートに配置しました。後方互換性のため、/app/index.html, /app/index-1G.html も従来通り動作するように保全しています。アプリケーションプロキシでのアクセス制御の掛けやすさに配慮した変更です。#879

他にいくつかの不具合修正を織り込んでいます、詳しくはインストーラに添付された以下のファイルをご覧下さい：

change-log.8.1.0-S118.txt
change-log.8.1.1-S118.txt
change-log.8.1.2-S118.txt
change-log.8.1.3-S118.txt
change-log.8.1.4-S118.txt
change-log.9.0.0-S119.txt
change-log.9.0.1-S119.txt

上記ファイルは、インストーラの zip ファイルを展開した際に現れる change-log フォルダにございます。

4. 新バージョンへのアップデートに際してのご留意事項

① fusion_place 実行環境のインストール

8.0.x からアップデートされる場合、「fusion_place 実行環境」のアップデートは必要ありません。

7.0.x 以前からアップデートされる場合、クライアント PC には、「fusion_place 実行環境」をインストールして頂く必要がございます。64-bit Windows 用の「fusion_place 実行環境」は、fusion_place メニューからダウンロード可能です。32-bit Windows をご利用されている場合は、弊社までご連絡下さい。

② Excel-Link アドインファイルの差し替え

今回リリースする各バージョンでは、Excel-Link アドインファイルは更新されています。したがって、これらのバージョンで Excel-Link の組み込みを実行すると、新しいバージョンのアドインファイルが Excel に組み込まれます。一方で、組み込みを行わず、6.2.2 以降の旧バージョンのアドインファイルをそのままお使い頂くことも可能です。更新後の新バージョン番号は、以下の通りです：

7.0 系列/8.0 系列…「7.0.4」
9.0 系列　　…「9.0.0」

③ リクエスタのバージョン選択(fusion_place premium, cloud のみ)

8.x.x からアップデートされる場合、リクエスタのアップデートは必要ありません。

7.0.x 以前からアップデートされ、今回から、クライアントサイドでも Java11 以降をご利用の場合、今回、同梱した実行可能ファイル（jar ファイル）をご利用ください。Java 8 以前をご利用の場合、旧バージョンのリクエスタを引き続きお使いいただけます。

5. インストール方法

クラウドでご利用の場合、インストールは必要ありません。別途お知らせする fusion_place cloud の弊社更新作業時にはサービスを一時的に中断することがございます。

fusion_place premium の場合のインストール手続き自体は旧バージョンと変わりませんが、インストールの前に、旧バージョンでお使いのデータベースをバックアップするとともに旧版のソフトウェアをアンインストールして頂く必要があります。

7.0.x 以前からアップデートされる場合は、前述のように、インストール後、各クライアント PC で「fusion_place 実行環境」をダウンロードしてインストールする必要がございます。
詳細は、本リリースのインストーラに同梱されているユーザマニュアル (fusionplace-usermanual.chm) の以下の項目をご参照下さい：

「fusion_place をセットアップする」
＞「02. セットアップ手続き」
＞「04. fusion_place をバージョンアップする際の手続き」

インストール後、ユーザが fusion_place にログインする最初のタイミングで、データベースが最新のレイアウトに移行されます。移行処理は完全に自動的に行われますので、ユーザが手を煩わせる必要はありませんが、以下の点にご留意下さい。

① データベースに含まれるデータ量が大きい場合、移行処理に数分かかることがあります。

② 移行されたデータベースファイル群を、もとのバージョンで使用できるレイアウトに戻すことはできません。

以上